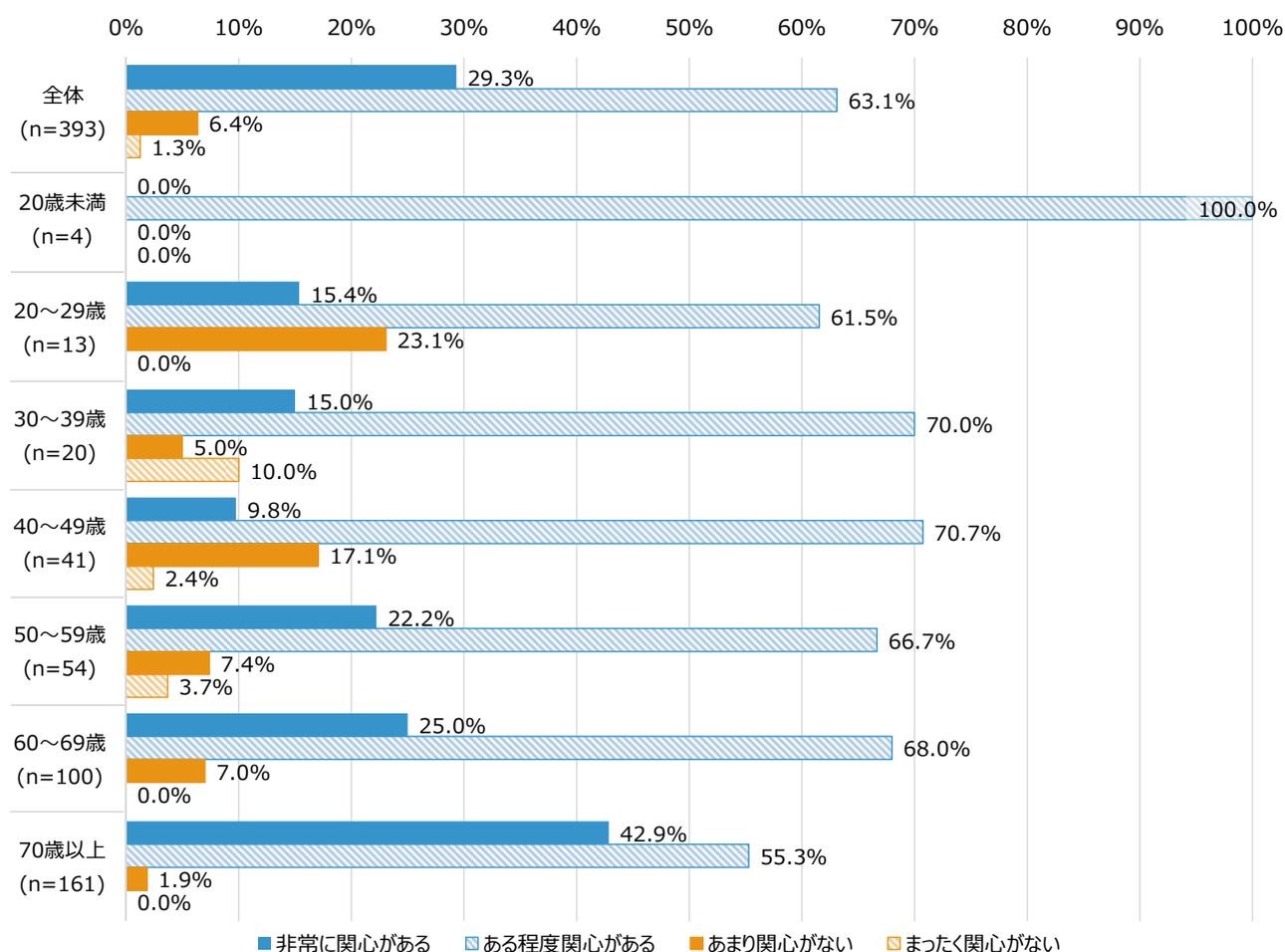


地球温暖化対策に関する市民アンケート調査結果

1 クロス集計結果（年齢との関係）

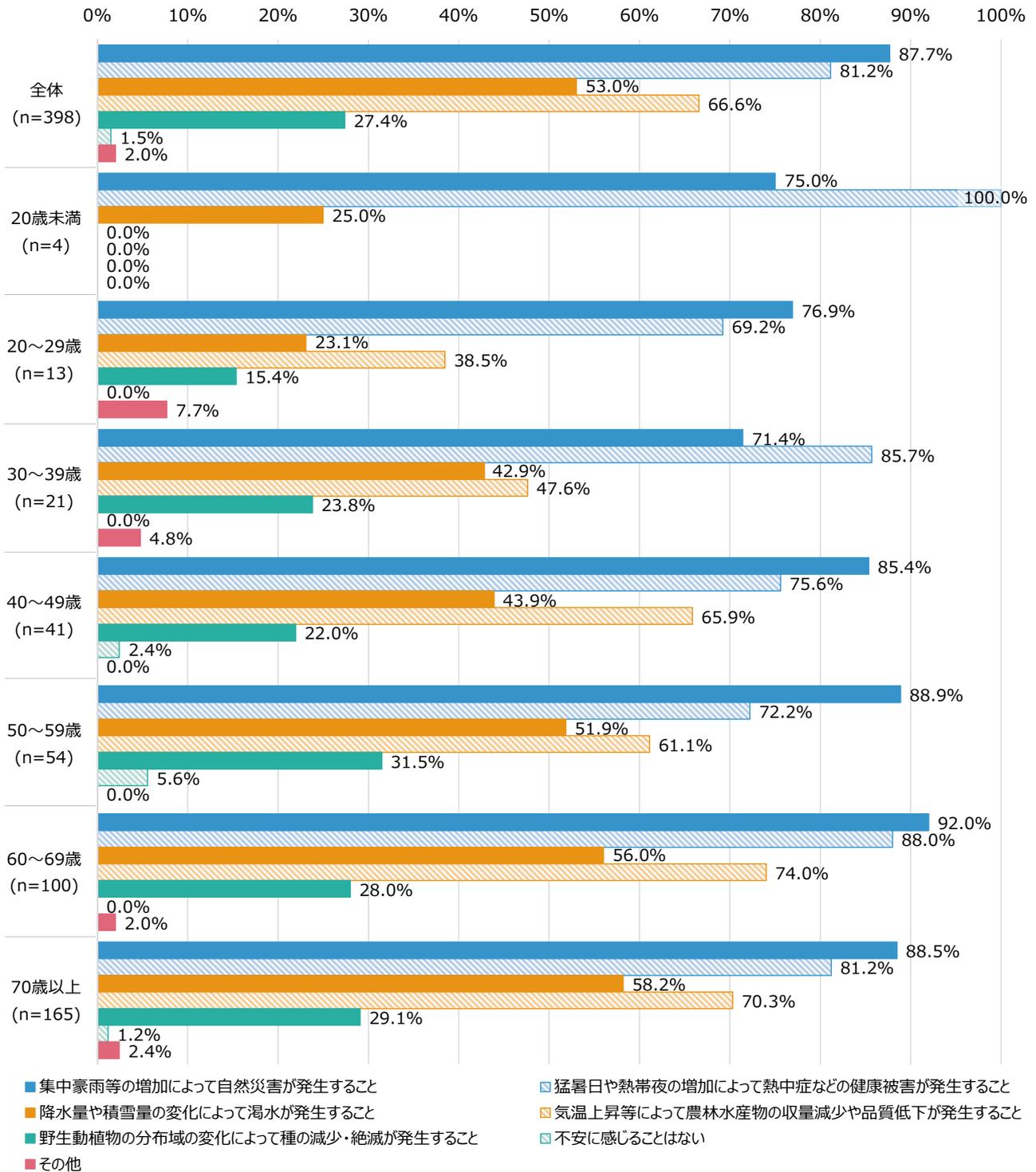
問 2 あなたは、地球温暖化問題に関心がありますか。

「非常に関心がある」と回答した割合は、年代がさがるほど低くなっていることから、若い世代ほど地球温暖化問題への関心が低い傾向が見られる。



問3 あなたは、地球温暖化の影響について不安に感じることがありますか。

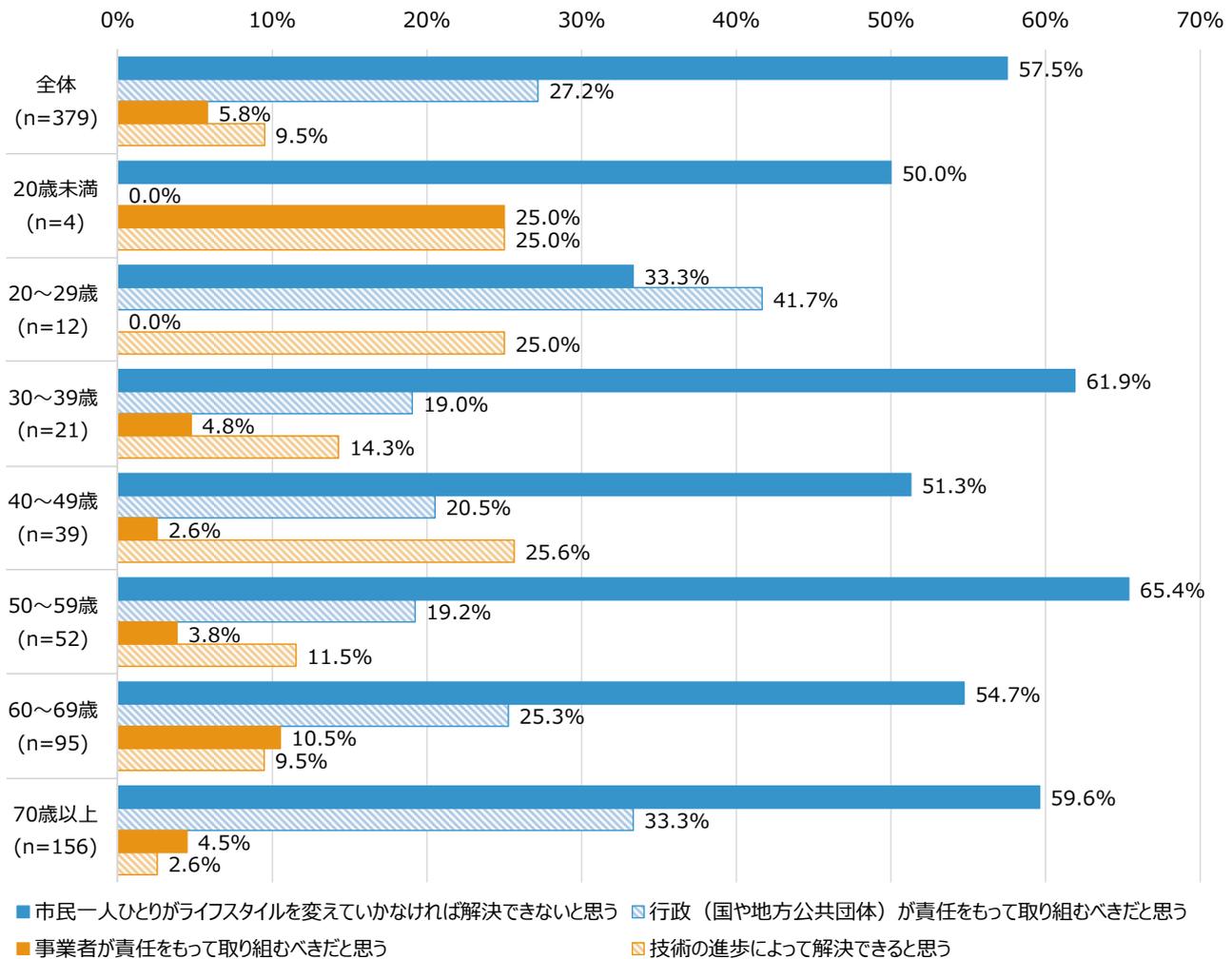
「降水量や積雪量の変化によって渇水が発生すること」や「野生動植物の分布域の変化によって種の減少・絶滅が発生すること」と回答した割合は、年代がさがるほど低くなっていることから、若い世代ほど降水量や積雪量の変化、野生動植物の変化に対する意識が低い傾向が見られる。



問 6

あなたは、地球温暖化対策を行う主体について、どのようにお考えですか。

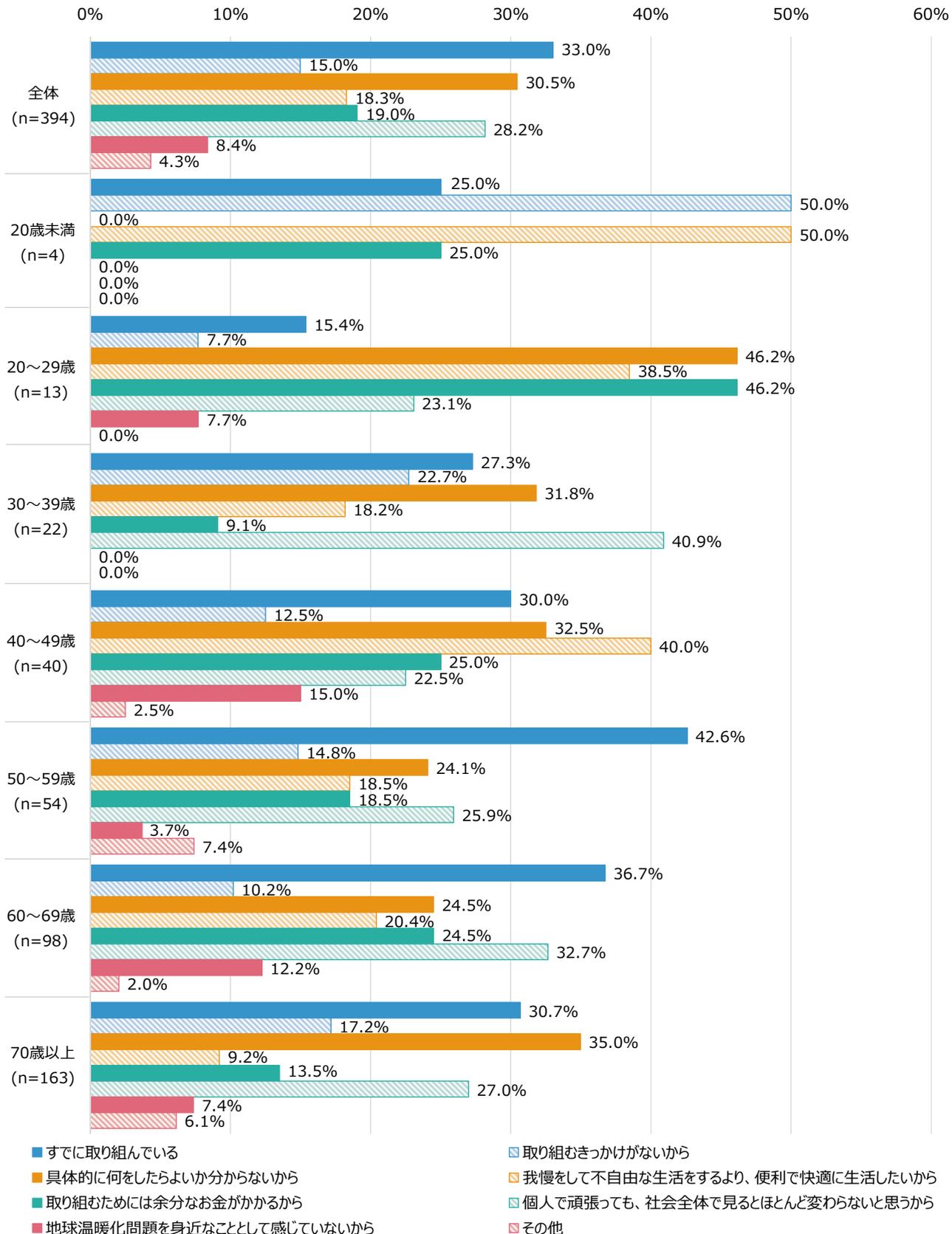
「市民一人ひとりがライフスタイルを変えていかなければ解決できないと思う」と回答した割合は、20代が他の年代と比べて低く、一方、「行政（国や地方公共団体）が責任をもって取り組むべきだと思う」と回答した割合は、20代が他の年代と比べて高くなっていることから、若い世代ほど地球温暖化が自分事という意識が低く、行政に取組を求める傾向が見られる。



問 8

あなたは、省エネルギーなどの地球温暖化対策に取り組みにくい、または取り組まない要因として何があると思いますか。

「具体的に何をしたらよいか分からないから」や「取り組むためには余分なお金がかかるから」と回答した割合は、20代が他の年代と比べて高くなっていることから、若い世代ほど地球温暖化対策に取り組むための費用を意識する傾向が見られる。

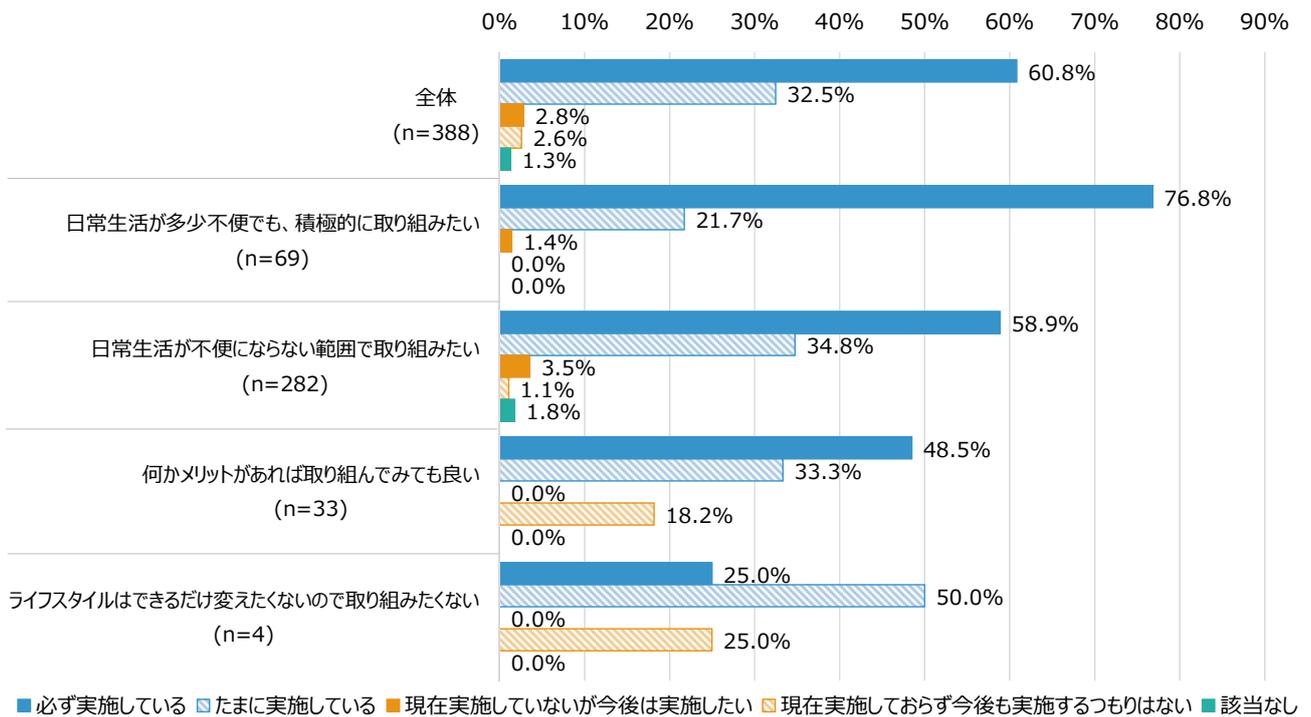


2 クロス集計結果（地球温暖化対策への意向（問 7）との関係）

問 5 あなたのご家庭では、省エネルギーなどに関する取組を行っていますか。

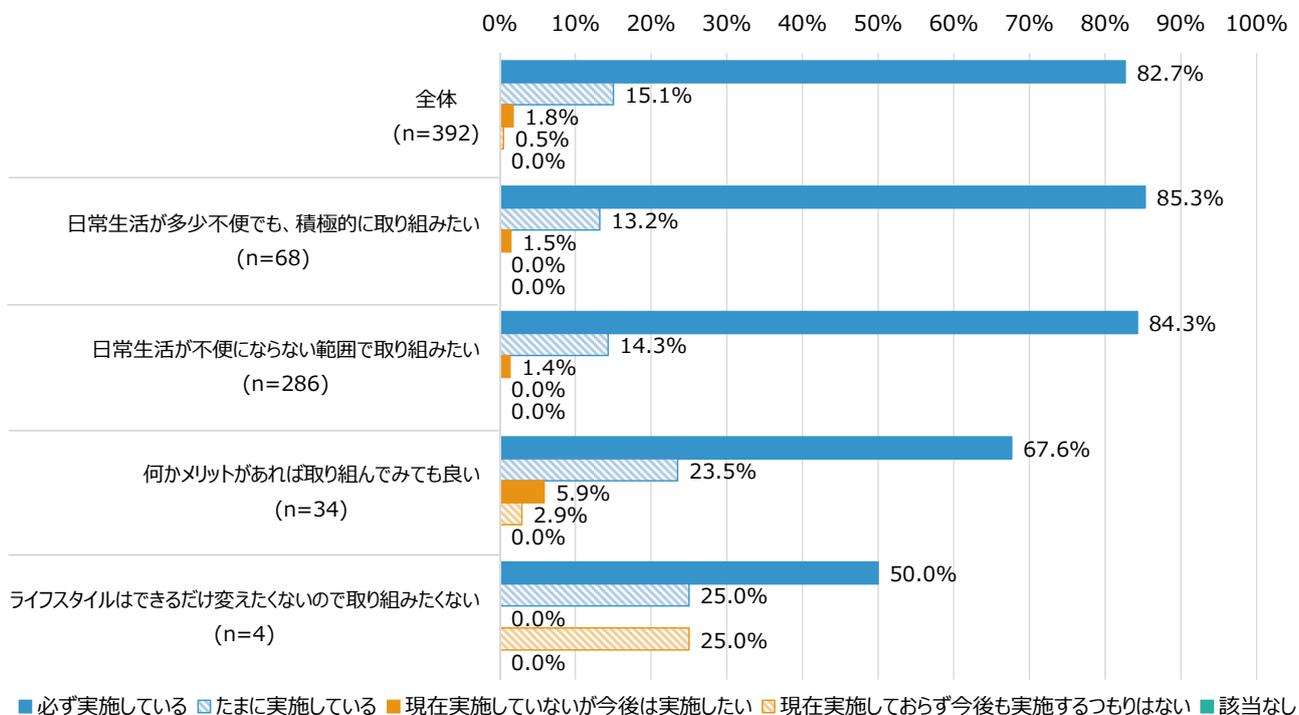
① 冷房や暖房を適正な温度に設定する

「必ず実施している」と回答した割合は、「日常が多少不便でも、積極的に取り組みたい」と回答した市民で高く、「ライフスタイルはできるだけ変えたくないので取り組みたくない」と回答した市民では低くなっていることから、意識が高い市民ほど取組状況が良い傾向が見られる。



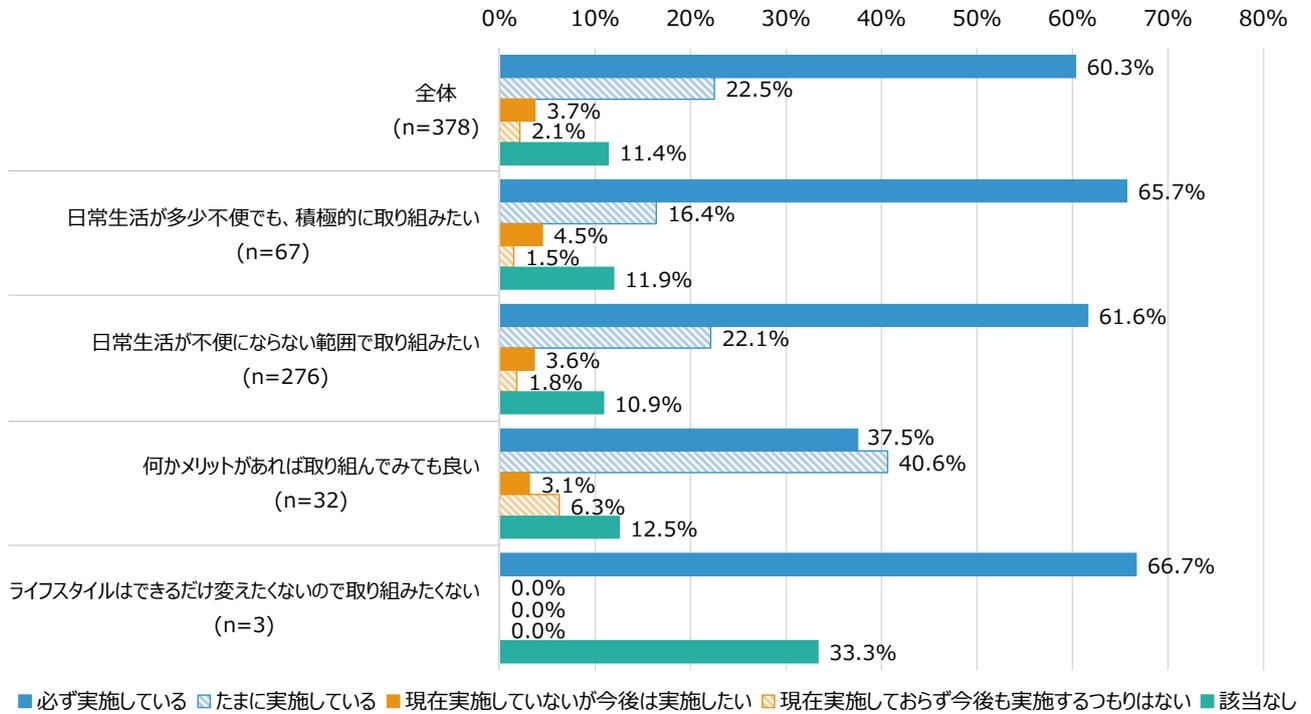
⑤ 人がいない部屋の照明はこまめに消す

「必ず実施している」と回答した割合は、「日常が多少不便でも、積極的に取り組みたい」と「日常生活が不便にならない範囲で取り組みたい」と回答した市民でともに高くなっていることから、照明はこまめに消すことで日常生活が不便になるとは感じておらず、日常生活の中で定着している傾向が見られる。



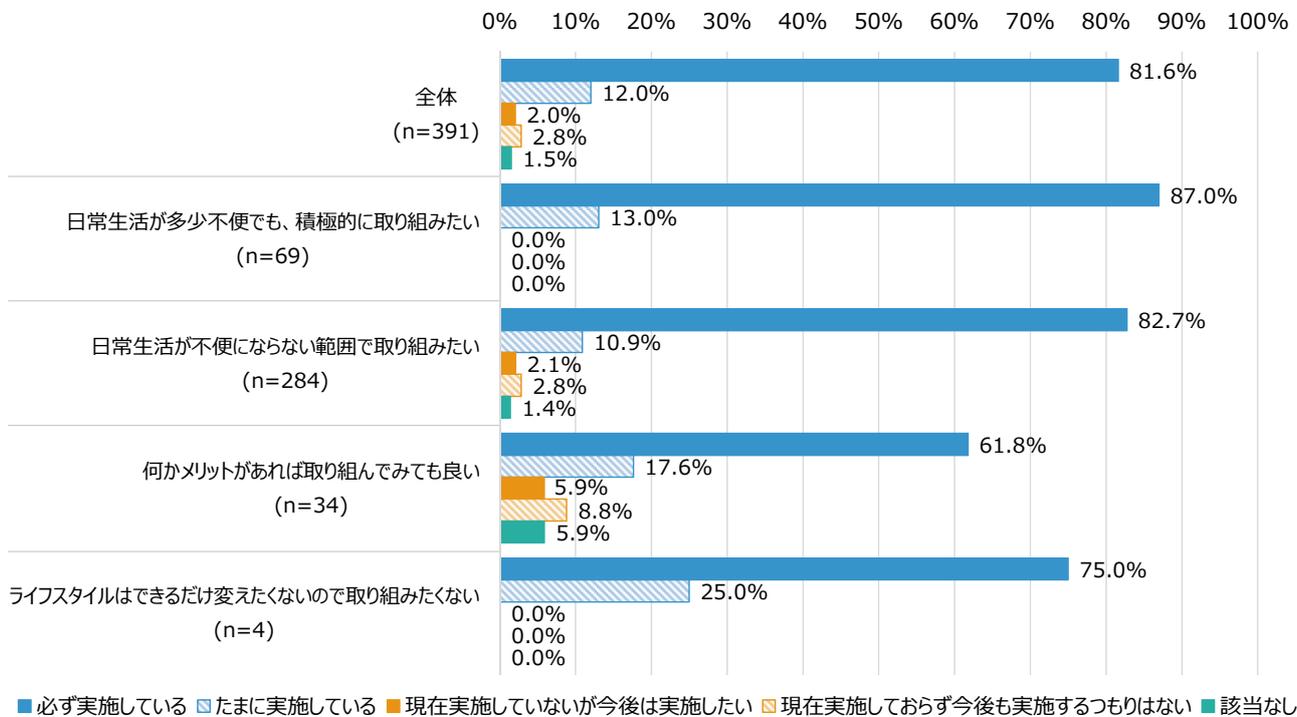
⑭ 自動車やオートバイの運転では、急発進や急停車、無用なアイドリングはしない

「必ず実施している」と回答した割合は、「日常が多少不便でも、積極的に取り組みたい」と「日常生活が不便にならない範囲で取り組みたい」と回答した市民でともに高くなっていることから、エコドライブを実施することで日常生活が不便になるとは感じておらず、日常生活の中で定着している傾向が見られる。



⑮ 買い物の際は、マイバッグを持ち歩く

「必ず実施している」と回答した割合は、「日常が多少不便でも、積極的に取り組みたい」と「日常生活が不便にならない範囲で取り組みたい」と回答した市民でもとに高くなっていることから、マイバッグを持参することで日常生活が不便になるとは感じておらず、日常生活の中で定着している傾向が見られる。

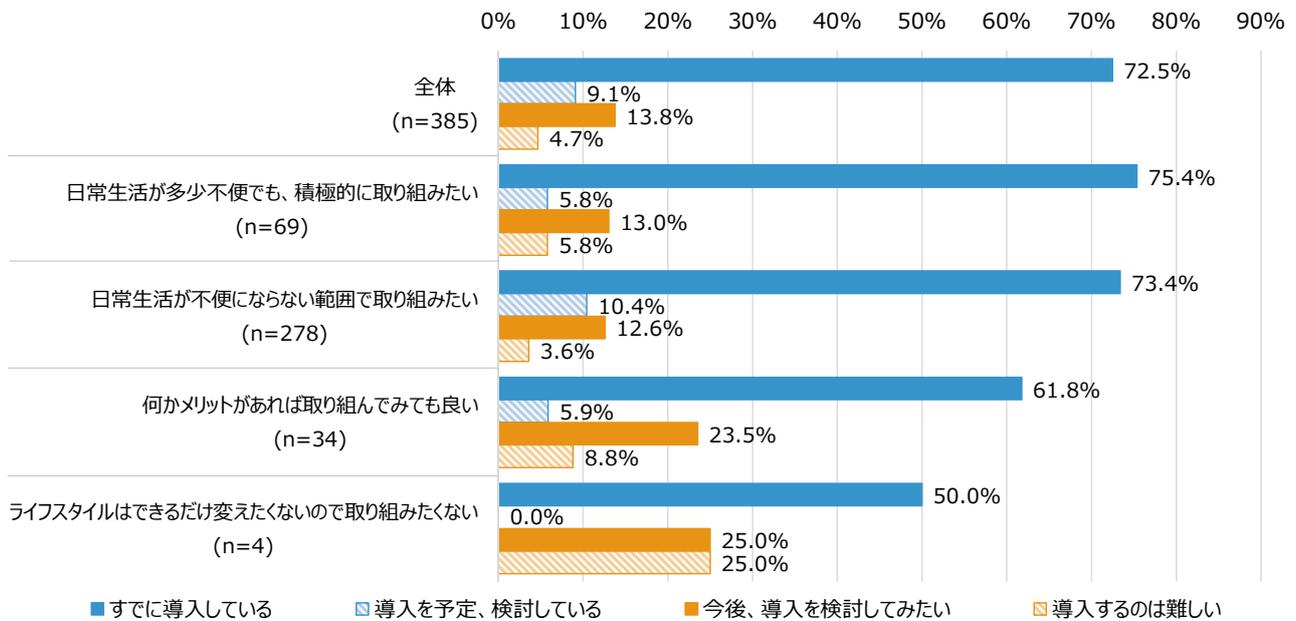


問 9

あなたのご家庭では、省エネルギー機器などを導入していますか。

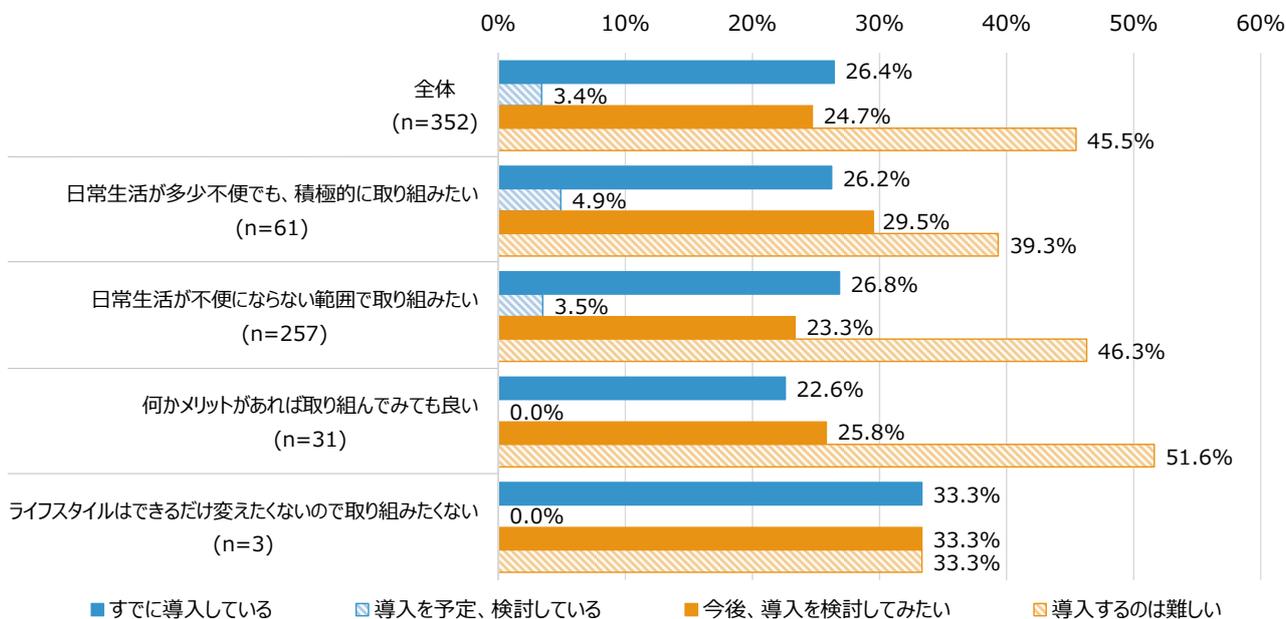
① 高効率照明（LED 照明など）

「すでに導入している」と回答した割合は、「日常が多少不便でも、積極的に取り組みたい」と「日常生活が不便にならない範囲で取り組みたい」と回答した市民でともに高くなっていることから、LED 照明を導入することで日常生活が不便になるとは感じておらず、日常生活の中で定着している傾向が見られる。



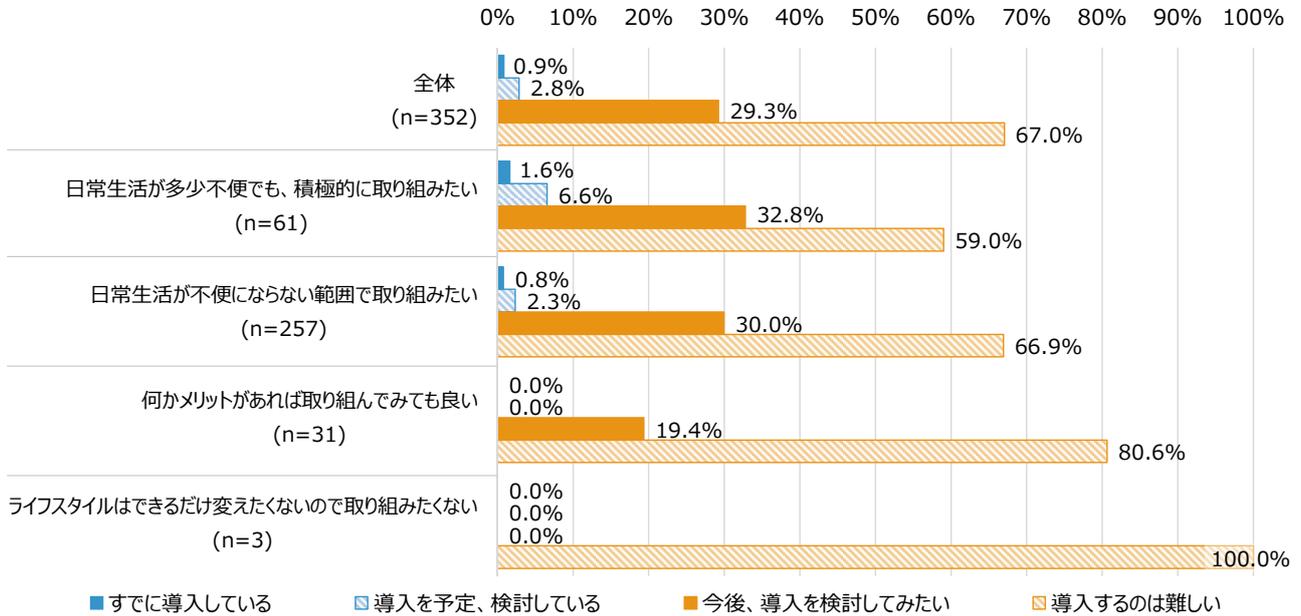
⑦ ハイブリッド自動車

「すでに導入している」と回答した割合は、「日常が多少不便でも、積極的に取り組みたい」と「日常生活が不便にならない範囲で取り組みたい」と回答した市民でともに高くなっていることから、ハイブリッド自動車を導入することで日常生活が不便になるとは感じておらず、日常生活の中で定着している傾向が見られる。



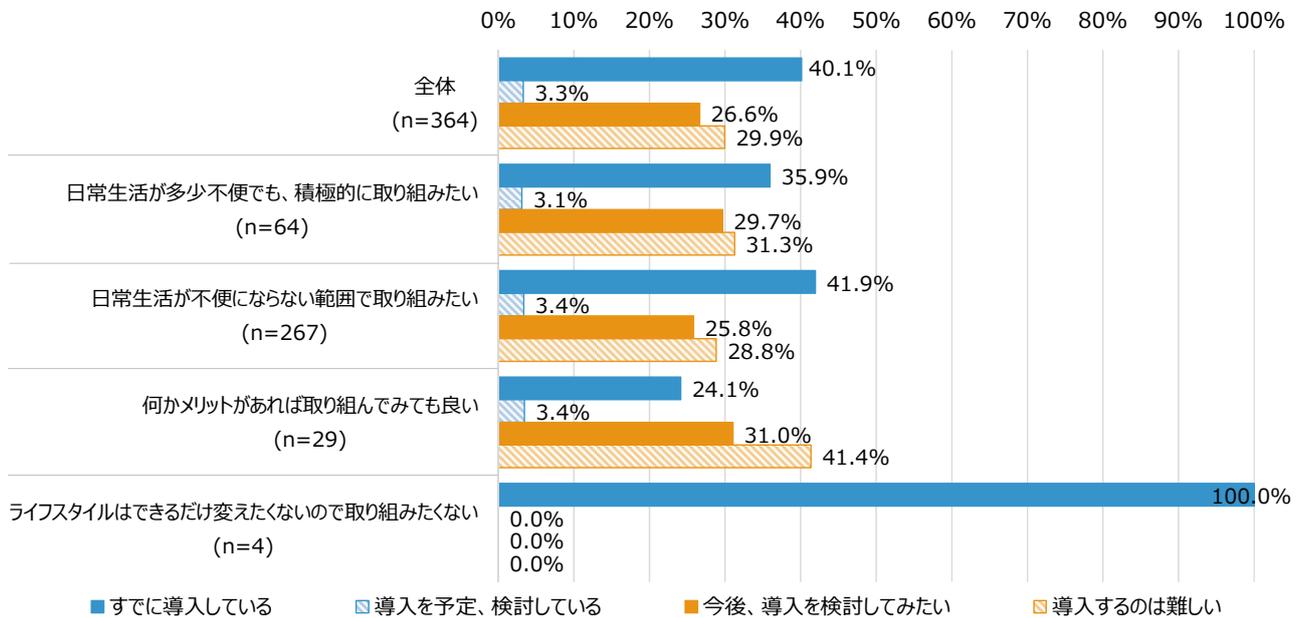
⑨ 電気自動車

「すでに導入している」と回答した割合は、「日常が多少不便でも、積極的に取り組みたい」と回答した市民で高く、「ライフスタイルはできるだけ変えたくないので取り組みたくない」と回答した市民では低くなっていることから、意識が高い市民ほど取組状況が良い傾向が見られる。



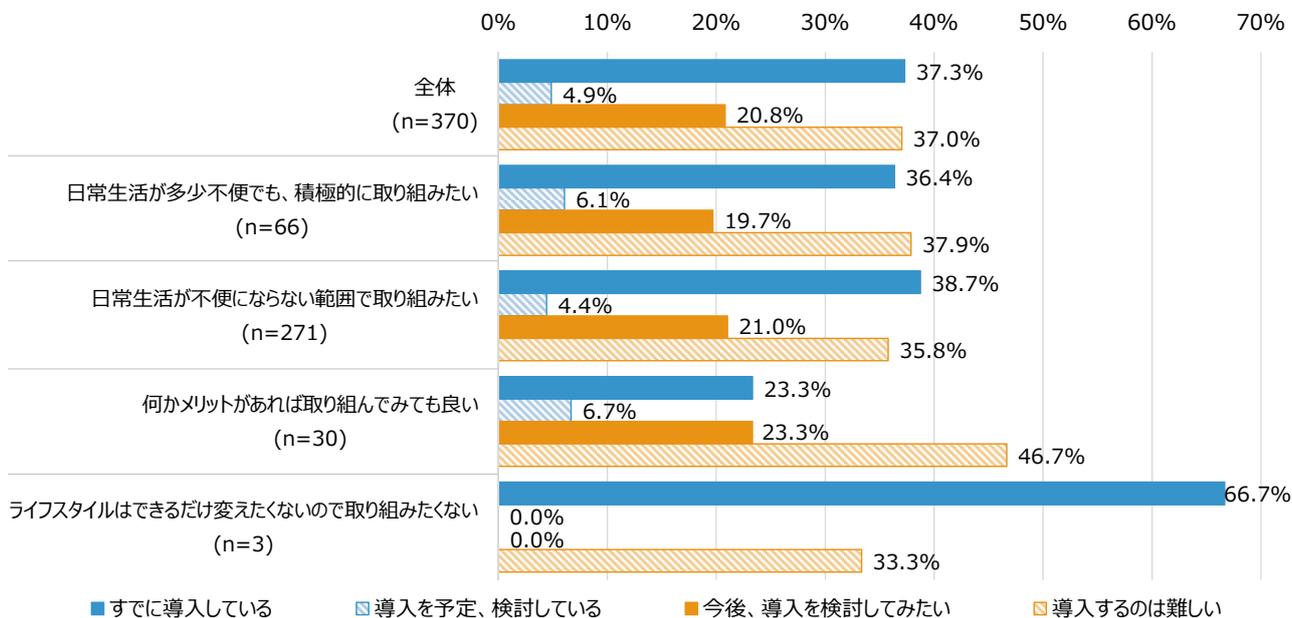
⑪ 断熱窓（複層ガラス、二重窓など）

「すでに導入している」と回答した割合は、「日常が多少不便でも、積極的に取り組みたい」と「日常生活が不便にならない範囲で取り組みたい」と回答した市民でともに高くなっていることから、断熱窓を導入することで日常生活が不便になるとは感じておらず、日常生活の中で定着している傾向が見られる。



⑫ 天井や壁などへの断熱材

「すでに導入している」と回答した割合は、「日常が多少不便でも、積極的に取り組みたい」と「日常生活が不便にならない範囲で取り組みたい」と回答した市民でともに高くなっていることから、断熱材を導入することで日常生活が不便になるとは感じておらず、日常生活の中で定着している傾向が見られる。



問 11

あなたのご家庭では、再生可能エネルギー設備などを導入していますか。

① 太陽光発電システム

「すでに導入している」と回答した割合は、「何かメリットがあれば取り組んでみても良い」と回答した市民で高くなっていることから、太陽光発電システムの導入にメリットを感じている市民が多い傾向が見られる。

